

森元 元子さんより藍染壁掛け絨毯が寄贈

佐白在住で永く工芸活動を続けられている森元元子さんから8月5日、奥出雲町の誕生を記念し町に藍染の壁掛け絨毯を寄贈して頂きました。

この絨毯は、久留米絨の人間国宝、故・松枝玉記氏が染められた糸を使い、宝船、鶴、亀など縁起物が丹念に織り込まれています。

森元さんは「新生・奥出雲町の誕生をお祝いします。この絨毯をできるだけ多くの方に見て頂きたいと思います」と話しておられました。

町では奥出雲随一の観光交流施設「亀嵩温泉・玉峰山荘」に展示することとしています。ありがとうございました。



奥出雲町では新町建設計画に掲げている地域情報化を図るためI-T（情報通信技術）を活用し、①横田地域をカバーするケーブルテレビ施設②地上デジタル放送に対応した仁多地域のケーブルテレビ施設改修③超高速インターネットを可能にする光ファイバー網④全町を結ぶI-P電話・告知放送システム整備等を計画しています。

この計画を町民の方々に知って頂くための第一回地域情報化セミナーが七月三十一日、横田コミュニティセンターで開催されました。

セミナーではまず、総務省

中国総合通信局情報通信部長の緒方康裕氏から「デジタル時代の地域情報化について」

ケーブルテレビで地域の活性化を!

第1回 地域情報化セミナー



▲多くの方に研修して頂きました

と題し、国のI-T施策全般について私たちの生活に身近な通信、放送、地域振興の観点から説明されました。

次にNHK広島放送局視聴者センター部長の徳本照昌氏からは「てれびがわかる」をテーマに高画質、高音質、臨場感あふれるデジタル映像のデモを交えて、これから始まるデジタル放送の魅力をPRされました。

参加された約百名の方は、最新のI-T事情を熱心に聴講されました。

地域の農業基盤が拡充 結川地区農業集落道整備工事竣工

蔵屋地内で平成十四年度から三年をかけて改良が進められていた結川地区農業集落道整備工事が完了し八月五日、蔵屋自治会の主催による竣工式が行われました。

完成したのは、これまで狭隘で車が交差できなかった約三百五十坪の区間で、中山間地域総合整備事業を導入し約五千八百五十万円をかけ、幅員四坪、転落防止柵六十一・五坪を備えた立派な農道に生まれ変わりました。

この事業の完成により、蔵屋地内の交通の改善が図られ、今後仁多米をはじめとする農業の利便性・生産性向上、地域住民の生活道路として大いに活用されます。



▶代表者によるテープカット